

学びのイノベーション 「学びをドラスティックに変革する」

渋谷区立原宿外苑中学校

未来社会を見据えた人材育成のくため「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善が求められています。本校では、この実現に向け、「学び」をドラスティックに変革する挑戦を続けています。

基礎的・基本的な知識・技能を「習得」することが中心であった「これまでの学び」に加え、様々な実体験を通して習得した知識・技能や経験値を課題解決に「活用」すること、そして、学んだことを社会や人生において実践する「教科・学年等の枠を越えた問題解決的学習（Project Based Learning）」や「探究」活動へと発展させていくという学びのデザインです。

基礎基本を「習得」するためのベースとなる各教科の授業デザインには「知識構成型ジグソー法」を導入しています。多様な他者と協調することで主体的に課題を解決する学びを展開することで、知識を習得するだけではなく、未来社会をたくましく生き抜くための資質・能力の育成が無限に広がります。このような学びを構築するために月1回のTeachers Learning Dayを設定、午後の時間を教員研修としています。

また、「Authentic Learning」を目指し、従来の枠組みを超えた問題解決的学習やSTEAM教育といった新たな学びを展開してきました。地域団体や民間企業等のリソースと「学び」を融合させ、本物の社会課題の解決について体感する学びです。令和5年度には、年間で三十を超える団体・企業等とのコラボレーションが実現しています。

展開例としては、着物専門店を全国展開する地域企業と「着付け授業」を全校全学級で実施しています。そして、和装での「映える写真」の撮影会に発展させ日本文化について学びを深めていきます。さらに、三年生は着物のデザインに挑戦。最終的にコンテストを開催して、校内審査を経た数点を企業Webサイトにて公開投票をすることで最優秀作品を選定。最優秀作品は商品として販売されることとなりました。

さらに、令和6年度からは文部科学省「授業時数特例校」の制度を利用して「探究」活動へと学びを発展させています。「習得・活用・探究」いう学びの往還を重視して、学びを深めていきます。

これらの学びを通して、本物の社会課題に対して生徒が主体となり試行錯誤することで「未来社会を変えること」にチャレンジしていきます。

今後の展開は、本校Webサイトをご確認ください。

